

授業科目名・形態	高齢者福祉論	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操		実務経験の有無	無	開講期	1年後期

### 【授業の主題】

高齢者の生活を取り巻く社会情勢や高齢者施策の変遷のなかで、再雇用・就労問題、扶養や放任・虐待など高齢者と家族が抱えている様々な生活課題を、社会福祉や介護問題として理解する。その上で生活支援にあたって必要とされる福祉や介護の考え方、介護保険制度や高齢者福祉・介護に係わる他の法制度について理解する。

### 【到達目標】

1. 高齢者とその家族を取り巻く社会環境を理解する。
2. 高齢者福祉の発展過程について理解する。
3. 高齢期の介護問題と施策について、介護保険制度を中心に理解する。
4. 高齢期の教育・医療・福祉・介護に関連する法制度、社会システムについて理解する。
5. 高齢期の特徴・生活課題を踏まえたソーシャルワークを理解する。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 少子高齢社会と高齢者①（高齢者の特性・・・社会的理解、身体的理解、精神的理解）
- 第2回 少子高齢社会と高齢者②（日本の高齢化の実態と理由、課題）
- 第3回 高齢者の生活実態と社会環境
- 第4回 高齢者福祉の発展過程①（高齢者処遇の歴史と戦後の老人福祉制度）
- 第5回 高齢者福祉の発展過程②（介護保険創設から拡充期、システムの転換と理念の変遷）
- 第6回 介護保険制度①（介護保険システムの概要）
- 第7回 介護保険制度②（保険者と被保険者、保険料）
- 第8回 介護保険制度③（要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付）
- 第9回 介護保険制度④（介護保険サービス）
- 第10回 高齢者保健福祉の法体系①（福祉と保健、老人福祉法）
- 第11回 高齢者保健福祉の法体系②（高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法）
- 第12回 高齢者保健福祉の法体系③（高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法）
- 第13回 高齢者と家族支援①（関係機関と専門職の役割）
- 第14回 高齢者と家族支援②（高齢者と家族支援の実際・事例）
- 第15回 高齢者福祉まとめ（高齢者福祉の理念、制度・施策の歴史と現在の実態、今後の課題）

### 【授業実施方法】

講義形式で行う。

### 【授業準備】

前回講義を復習する。講義予定箇所を読み、専門用語、概念等について調べておく。疑問点を整理しておく。講義中に事例として取り上げたニュースなどは自分で確認しておく。

### 【主な関連する科目】

社会福祉概論、社会保障論、地域福祉論等

### 【教科書等】

最新・社会福祉士養成講座 『高齢者福祉』 中央法規出版

### 【参考文献】

適宜紹介する。

### 【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 30%、期末試験の成績 60%の総合評価とする。

### 【学生へのメッセージ】

高齢者を取り巻く現状と課題を踏まえ、地域包括ケアシステムを理解する。介護問題に収斂せず、地域文化も含めた生活環境と生活実態に関心を持って下さい。